

こころの初期化 II

永田 円了



The Butterfly Effect

最初のわずかな初期設定の違いが、後の結果に大きな影響を及ぼすことがある。1963年、気象学者エドワード・ローレンツが計算結果の検証のため初期値（0.506127）の二度目の入力の際、小数点4桁以下を省略して入力したところ、結果が大きく違って出てきたことを発見した。省略された0.000127（一万分の一の世界）が、時間の経過をもって大きな影響をもたらすという事実 — “バタフライ効果” — を発見したのである。



北京で蝶が羽ばたくと、ニューヨークで嵐が起こる

日常の些細な初期条件の違いが、後におこる悲劇につながることになろうとは、いったい誰が知ろうか。

いま介護殺人が、二週間に一度の頻度で起こっている。日本で介護を担う人は557万人、どこにでもいる普通の人々が、介護疲れの果てに家族の命を奪ってしまう。2010年以降の6年間で135件の介護殺人が起こっているのである。（NHKスペシャル「私は家族を殺した」～介護殺人～ 2016年7月）

このような悲劇を観るとき、男女の初期値の違いを見る必要がある。男女がぶつかった時、男性は“分析して何とか解決しよう”とし、女性は、解決ではなく、自分の“気持ちを理解してほしい”と願う。男性は、コトバ自身が意味することを捉え、女性は、コトバの奥にある気持ちを聞いて欲しいと思うのである。



71歳の男性が、42年間連れ添った妻を手にかけてしまった。お見合いで、妻の笑顔に一目惚れ、大手企業で勤務31年、仕事一筋だった人生、妻の病気で初めて介護を体験。将来を悲観するなか、妻の「死にたい、殺して」のコトバに呼応してしまった。妻の「死にたい」というコトバは、本当に死にたいのではなく、死にたいほど苦しんでいるこの気持ちを理解して！ 本当をいうと、もっと生きたいのです！と叫びたかったはず。

日常、夫婦の衝突は些細なことで起こる。その時に男女お互いの初期値を理解することなく、お互い傷つけあうことを恐れ、当たり障りのない日々をおくるなら、その果てには大きな悲劇が起こりえる、ということを肝に銘じるべきである。

初期条件の再設定 今まで後生大事にしてきた心の初期設定をいま一度見直し、何か一つでも、ちょっとした些細なことにも目を向けたとき、0.000127の世界が生き始める。1万分の一の初期設定が、私たちが予想もしなかった世界へ導くとき、人生の佳境が現れる。

<事例 DVD等>

カオス理論/バタフライ効果/映画「ジェラシックパーク」より
エルビス・プレスリー/初期設定から享年42歳のラストステージまで
スティーブ・ジョブズ Steve Jobs/インタビュー、無料電話
エックハート・トリー Eckhart Tolle/ある修道院でのアルツハイマー
NHK「妻が夫にキレるわけ」/男女の初期設定の違い
Eテレ/谷グチ夫妻「愛なんて」/夫婦の初期化は可能か
NHK「介護殺人」/夫、妻、の初期設定にどんな問題が、
玉三郎/女形を指導する/1万分の一の世界
チャングムの誓い/王の握り拳/バタフライ効果
赤ちゃんの原始歩行/人間に本来備わっている力
歌・ブラザーズフォー/Try To Remember

